

事務連絡
平成26年4月18日

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒のプランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

赤潮プランクトン調査の結果、魚類に有害な種は確認されませんでした。メソディニウム ルブラが最大で265細胞/ml確認されました。

貝毒プランクトン調査の結果、麻痺性貝毒の原因種であるギムノディニウム カテナータム及びアレキサンドリウム属が最大で12及び74細胞/ml確認されました。

今後、海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

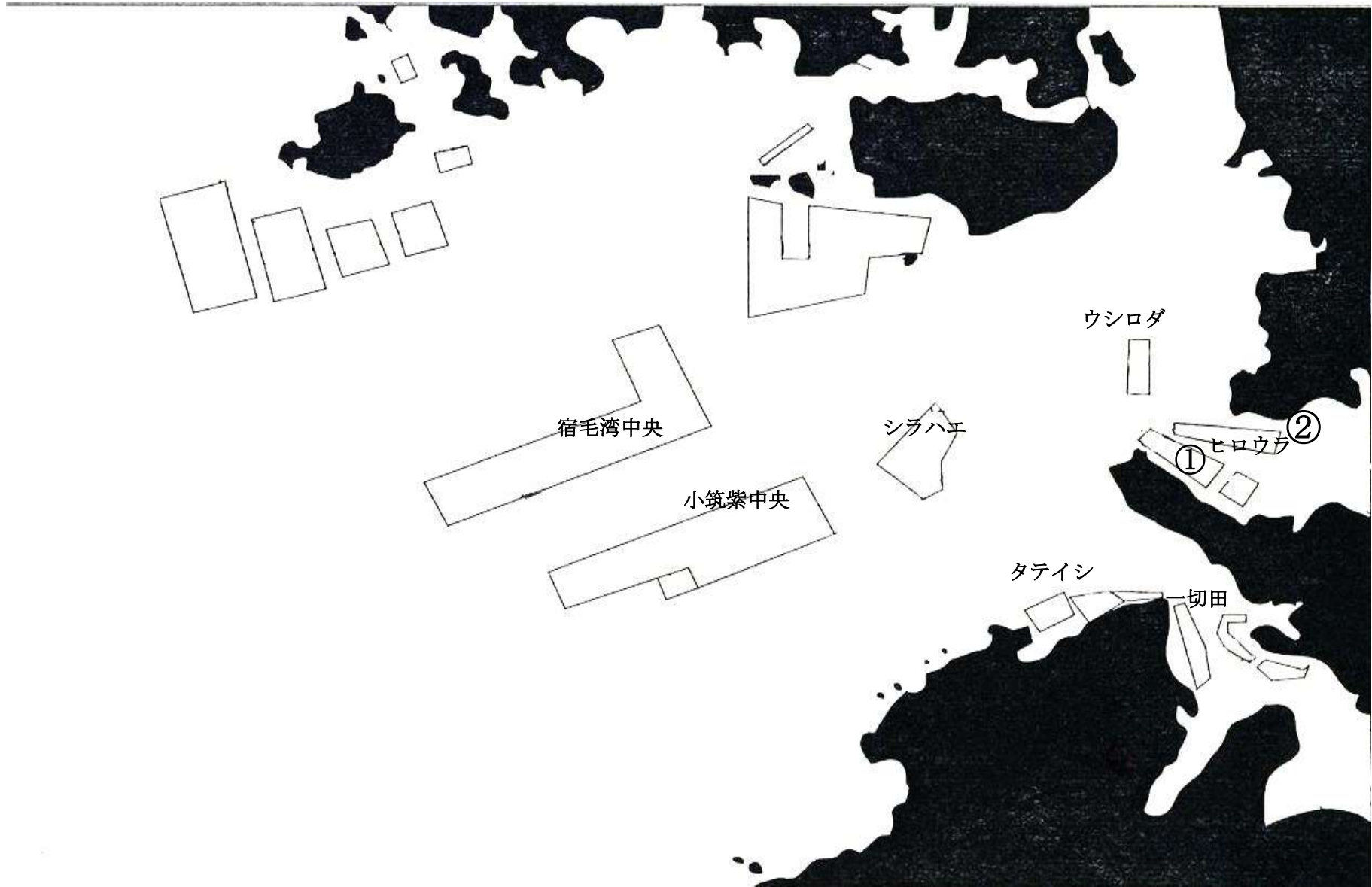
※（本日は、海水1mlでプランクトンの検鏡を実施しております。）

調査時間 (11:00~12:00)	水深	水温	塩分	溶存酸素	コクロディニウム ポリクリコイデス	ギムノディニウム カテナータム	アレキサンドリウ ム属	メソディニウム ルブラ
採集地点	(m)	(°C)	(psu)	(mg/L)	*1	*3	*3	
ヒロウラ 下図①	0	-	-	-	0	0	4	4
	5	-	-	-	0	0	74	265
	8	-	-	-	0	0	0	8
内外ノ浦 下図②	0	-	-	-	0	12	31	8
	5	-	-	-	0	0	12	30
	10	-	-	-	0	0	0	0

*1：魚類を死滅させる恐れがある種

*2：魚類を弱らせる可能性がある種

*3：麻痺性貝毒の原因種



宿毛湾中央

小筑紫中央

ウシロダ

シラハエ

ヒロウチ

タテイシ

切田

①

②